

モロッコ 歴史的な貿易ミッションがシンガポール市場を勝ち取る

[EastFruit 2025年4月22日](#)

シンガポールへのモロッコ産果実・野菜の貿易ミッションが本日成功裏に終了し、いくつかのモロッコ産プレミアム青果物が既にこのアジアの取引先に向けて出荷の準備中である。

FAO投資センターのエコノミストでプロジェクトリーダーであるアンドリー・ヤルマック氏は、「4月22日にシンガポールで、モロッコ産のブルーベリー、チェリートマト、有名なナドルコットマンダリン及びメロンを供給する最初の予備契約が締結された。さらなる詳細についてはモロッコの企業が買い手と調整中であり間もなく決まると見られるが、既に一部の出荷が準備中である。これらの迅速な成果は、FAOチーム、我々の国際コンサルタント達、それにモロッコのFOODEX(後述)による6カ月間の献身的な取組みの結果である」と述べた。

高品質で持続可能な農産物で東南アジアに目を向ける 安全、高品質で、持続可能な方法で栽培された果実や野菜の世界的な需要の高まりに応え、モロッコは戦略的に、シンガポール等の国が同じ価値観を共有する東南アジア地域への信頼できる供給国として自らを位置付けている。シンガポールとマレーシアへの果実・野菜貿易ミッションは、この方向への大きな一歩である。

国連食糧農業機関(FAO)と欧州復興開発銀行(EBRD)がモロッコの輸出促進機関であるFOODEXと連携して主催したこの貿易ミッションは、この地域における貿易関係を強化し、持続可能なパートナーシップを促進することを目的としている。

モロッコの輸出業者6社が、シンガポールの代表的青果物輸入業者12社とBtoBミーティングを行った。次の会合は、4月24日にマレーシアのクアラルンプールで予定されている。シンガポールに本社を置き、タイとマレーシアに事務所を置く大手輸入業者クラウンフルーツ社の営業販売スペシャリストであるナンディ・オデンドル氏は、「特に長期的で持続可能なパートナーシップの構築を目指す場合、対面での会合には本当の価値がある」と述べている。

この会議の高いレベルでの成功を確実にするため、モロッコの輸出業者達は慎重に選抜され、適格性を検証された。さらに、現地市場に関する詳しい情報を提供され、市場、貿易、ビジネス文化に関する2回の研修を受けた。主催者チームはまた、シンガポールの主要な青果物バイヤー12社を選び、構造化されたBtoB会合のフォーマットを開発した。FAO投資センターの園芸市場アナリストであるイェヴヘン・クジン氏は「完璧にマッチしたようだ。モロッコの輸出業者とシンガポールの輸入業者は、品質へのこだわり、多様でユニークな製品の提供、それに持続可能性という点で類似の価値観を共有している」と述べた。

主催者によると、輸入業者達からのフィードバックは大変肯定的で、モロッコ産のベリー類とマンダリンの購入を増やすことや、チェリートマトや場合によってはメロン、アボカドについてモロッコからシンガポールや地域内の他の国に供給する直接取引を行うことに熱心であった。FOODEXのイドリス・エル・ホンサリ氏は、「今日の対話の質に大変満足している。このミッションに備えるための我々の努力は明らかに報われた」と述べた。

モロッコの勢い ヤルマック氏はイベントの中で、最近のデータを用いて青果物部門におけるモロッコの印象的な実績と輸出の可能性を強調した。すなわちモロッコは：品質と持続可能性を重視しており、それはEU、カナダ、米国等への長年の輸出の成功、また最近の日本での成功(No.35参照)によって確認されている。/世界で最も急成長中の青果物輸出国トップ3に入っている。/世界のチェリートマトの輸出を主導し、生鮮トマトの純輸出国として第2位である。/プレミアムマンダリン輸出の世界的リーダーの一員である。/生鮮ブルーベリーの第3位の輸出国であり、既にシンガポールとマレーシアへの3大供給国の1つである。/季節に適したソフト柑橘類 - 旧正月市場に最適 - の供給国である。/価値の高い農産物の幅広い品揃えを提供している。

持続可能な貿易に向けた戦略的取組み 今回の貿易ミッションはBtoB会合にとどまらず、東南アジアにおける強靱な食品貿易、持続可能なサプライチェーン、及び多様な供給に向けた長期的なビジョンを反映している。モロッコ産農産物がシンガポールとマレーシアのスーパーの棚で目立つようになる中、この貿易ミッションは、より強く結びつき、持続可能で、確実な地域の食料システムを構築する上での重要な節目である。